



白寿祝状授与 7/5

橋本ふじゑさんが白寿を迎え、富田副町長から祝状、川越社会福祉協議会会長から記念品が贈られました。ふじゑさんは旧門別町厚賀の出身で、結婚してから静内東別で農業を営み、5人の子どもの恵まれました。次女の永井シマ子さんは「幼い頃に父を亡くしましたが、母の明るさのお陰で寂しい思いはしませんでした。俳句やダンス、習字にゲートボールなど何でも挑戦する元気な母でした」と話し、駆けつけた5人の家族とともに99歳の誕生日を喜びました。



第34回帝王賞優勝 6/29

地方競馬の古馬ダート最強馬決定戦『第34回帝王賞(統一GI)』で、岡田スタッド(静内目名)生産馬のスマートファルコンが、圧倒的な強さで優勝を飾りました。スマートファルコンはスタートから先手を奪い、直線でも後続を寄せ付けず、2着馬に9馬身差をつけ、2分1秒1のレースコードで優勝。平成22年12月29日の『東京大賞典』に続く、統一GI3連勝を飾りました。



テニポン全道大会優勝 6/19

砂川市で開かれた第19回北海道アメニティ・テニポン大会において、静内テニポンサークル「ポンキーズ」所属の地形優美子さん・岬静香さんペアが女子2部で優勝、河原勝文さん・山本美千代さんペアがミックスの部で優勝に輝きました。ポンキーズ代表の地形さんは「ベテラン2組が優勝し、大変嬉しいです。若いメンバーも刺激を受け、より一層練習に力が入っています。テニポンに興味のある方は一度見に来て下さい」と話していました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



第61回社会を明るくする運動 7/6

静内地区保護司会静内分区などによる『社会を明るくする運動』のパレードが静内地区中心部で行われ、防犯団体など15団体約150人が参加し、犯罪のない町づくりを呼びかけました。ピュア前広場で行われた出発式で、静内高校の松岡里美ボランティア局長は「人間関係が希薄になっている今日、人とのつながりを持つことが犯罪のない安全・安心な社会を作るために重要。地域との交流の場をつくっていききたい」と決意表明しました。



新ひだか町誕生5周年記念 第17回みついし蓬萊山まつり 7/3

蓬萊山を渡すしめ縄をバックに、様々なイベントが行われ、町内外から訪れた約7,000人は、夏の休日を楽しみました。小金沢昇司さんや歌真呂さんの歌謡ショーに会場から歓声が上がリ、よさこいソーラン踊りでは、地元「三石なるこ会」や「平岸天神」などの熱気あふれる踊りが繰り広げられたほか、陸上自衛隊第7音楽隊による吹奏楽演奏もあり、会場は終日、多くの親子連れなどでにぎわいました。



第38回静内支部 老人スポーツ大会 6/21

新ひだか町老人クラブ連合会静内支部による『老人スポーツ大会』が町静内体育館で開かれ、331名が参加し、熱戦を繰り広げました。4m先のボードに向かって、スティックでボールを打ち、入った穴の点数を競う「パットパットゴルフ」や座布団の上にバレーボールをのせてボールを回る「ゆっくり走ろう座布団カー」などユニークな全10種目を競い合い、参加者はさわやかな汗を流しながら、交流を深めました。



レキシントン市友好親善訪問団来町 6/15~24

昭和63年に姉妹都市提携を結んだアメリカ合衆国ケンタッキー州レキシントン市から、友好親善訪問団6名が来町しました。友好親善訪問団の来町は今回が18回目で、滞在中はホームステイをしながら、町内の中学校や高校への訪問、北大農場や青少年科学館など町内外の施設見学、書道や茶道の体験を通し、日本の文化を学び、同世代の子どもたちと触れ合い、交流を深めました。



切花品評会 7/7

花の品質などを競い合う「第10回みついし花き振興会切花品評会」が町福祉センターで開かれ、最優秀賞に浦東一則さん(三石西端)が出品したデルフィニウムが選ばれました。



静内混声合唱団ブリューテ第24回定期演奏会 7/3

静内混声合唱団ブリューテの定期演奏会が町公民館で開かれ、東日本大震災の復興ソング「見上げてごらん夜の星を」など、被災地への応援の気持ちを込めて精一杯歌い上げていました。



近藤良平さんと踊ろう 7/1

NHK連続テレビ小説「てっぺん」の「てっぺんダンス」を振り付けた近藤良平さんのミニライブが三石小学校で開かれ、約130人が来場し、全員でダンスを踊るなど楽しい時を過ごしました。



海物語 inみついし 6/28

子ども達に漁業の魅力を伝えようと、ひだか漁協三石地区青年部・女性部による出前授業が、三石小学校5年生を対象に行われ、子ども達は生きたタコに大喜びしました。